

女性部会 てしかが写真講習会

女性部会(高梨ひとみ部会長)では10月4日、川湯ふるさと館で「てしかが写真講習会 初心者編～コンパクトデジカメで切り取る弟子屈の自然～」を開催しました。

フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどSNS(ソーシャルネットワークシステム)の利用者が増え、写真を通じて世界へ情報を発信できるようになりました。講習会は、弟子屈町からも魅力的な情報を発信できるよう写真撮影のテクニックを学ぼうと開催されたもので、7人が参加。講師に本町在住のカメラマン・田澤淳子さんを迎え、デジタルカメラの特徴や基本的な機能、撮影構図などについて学んだ後、実際に野外で紅葉風景の撮影を行いました。

参加者からは「デジカメの機能を理解し、少し構図を考えることで、いつも何気なく撮っている写真がぐっと見やすくなった」「雪景色の写真撮影も教わりたい」などの声が聞かれました。



分かりやすく説明する田澤さん(奥)

食・文化部会 第9回農業祭への出店

食・文化部会(木名瀬佐奈枝部会長)では、8月29・30の両日に開催された第9回J A摩周湖農業祭～たぶん日本で一番早い新そば祭り～(摩周湖農協・摩周そば生産組合主催)会場で、弟子屈町産の野菜を使った天ぷら店を出店しました。

全国的に評価を得ている摩周そばと、地場産野菜のおいしさを町内外問わずにもっと多くの方に知ってもらいたい、地域に根差したお祭りである農業祭の発展に寄与していきたいと、町内の青年団体の集まりであるユースフルネットワークてしかが(今井慎也会長)との共催で出店。地場産野菜を使ったかき揚げ・天ぷら、姉妹都市・鹿児島県日置市の特産であるサツマイモの天ぷら、さつまあげを提供したほか、来場者に対するマーケティング調査なども行いました。来場者の皆さんからは「天ぷらそばにできるのはうれしい」「弟子屈産の野菜にこだわっているところがよい」との声も聞かれ、盛況のうちに完売することができました。

同部会では「地場産野菜にこだわったことやアンケート調査を行ったことで、地場産品のPRができたと思う。また、ユースフルネットワークてしかがとの共催で行ったことで、共にまちづくりを考えていける足掛かりとなった。今後も多くの方とのつながりを大切に活動を続けていきたい」と話していました。マーケティング調査結果と売上金は、地場産品の普及促進に役立ててほしいと摩周そば生産組合(猪狩広昭組合長)へ寄付することとしています。



好評だった地場産野菜の天ぷら

ユニバーサルデザイン部会 視察研修

ユニバーサルデザイン部会(三木亨部会長)では9月12日、バリアフリー観光に関する視察研修を行いました。

今後の弟子屈町のバリアフリー観光の発展に役立てるため、他地域の状況を調査することを目的に、斜里町知床で実施。オシッコシンの滝や道の駅シリエトクなどの観光施設の駐車場やトイレのバリアフリー度を調査したほか、車椅子やアイマスクを使い遊歩道での疑似サポートを体験しました。

同部会では「知床は世界遺産登録地として急速にバリアフリー化が進んでおり非常に整備されていたが、車椅子からの目線では景色が見えづらいところもあった。施設の便利さに加え、お客さまの満足度を高めるための工夫や、ちょっとした心遣いを考えていくことが必要」と話していました。



障がいのある方などの目線に立つて

問い合わせ先
てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係内) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

てしかが観光塾を開催します

人口減少、担い手不足、物価上昇、広がる格差など、さまざまな問題を抱え疲弊する地域経済。

待ったなしの状況でどのような未来を描いていくのか…。今、この時代を生きる一人一人に問われています。そんな中、地域の観光振興を担う人材育成のため、観光でのまちづくり、観光分野の学問的研究、観光の現場で活躍している方々を講師に迎え、今年度も「てしかが観光塾～北海道弟子屈から観光の未来を拓く～」を開講します。

▶開催日/11月13日(金)～11月15日(日)

▶会場/川湯ふるさと館 ほか

▶対象

観光事業者の方、自治体関係者の方ほか、どなたでも参加できます。

▶受講料/弟子屈町民の方は無料です。

▶内容

- 【11月13日(金)】
- 基調講演「持続可能な地域経済とは」
講師/藻谷 浩介 氏(㈱日本総合研究所調査部主席研究員)
 - 公開講座「エコツーリズムによる持続可能な地域づくり」
ファシリテーター/山田 桂一郎 副塾長
(JTIC SWISS代表、観光カリスマ、和歌山大学客員教授、北海道大学客員教授)
講師/金子 タカシ 氏(自然体験ガイド・ソルマル代表取締役、小笠原村観光協会会長)
 - トークセッション「誰もが自慢し誰もが誇れる町を目指して」
ファシリテーター/山田 桂一郎 副塾長
講師/藻谷 浩介 氏
パネラー/徳永町長(てしかがえこまち推進協議会会長、てしかが観光塾長)、えこまち推進協議会会員

- 【11月14日(土)】
- 講座「観光による地方創生」 講師/山田 桂一郎 副塾長
 - 講座「美しいまちづくり～資源の保全のために」 講師/午来 昌 氏(元・斜里町長)
 - 選択講座1 女性の感性をいかしたまちづくり
「目指したい産業ツアーが関わる地域づくり」～世界自然遺産の地で産業と観光をつなぐ取り組み～
講師/後藤 菜生子 氏(㈱社知床らうすリンクル代表)
「まちづくりにおける女性の関わり方」 講師/杉本 夏子 氏(松前町 温泉旅館矢野 若女将)
選択講座コーディネーター/竹林 浩志 氏(和歌山大学観光学部准教授)
 - 選択講座2 農業と観光から考える地域経済
「北海道型農村ツアーの作り方」～いただきますカンパニーの取り組みを通して～
講師/井田 芙美子 氏(㈱いただきますカンパニー代表取締役)
「農業と観光の架け橋を目指して」 講師/渡辺 隆幸 氏(㈱渡辺体験牧場代表取締役)
選択講座コーディネーター/出口 竜也 氏(和歌山大学観光学部教授)
 - 選択講座3 バリアフリー観光を考える
「ユニバーサルツーリズムに必要なヒトとモノとやるべきこと～現状検証とこれからの展望～」
講師/てしかがえこまち推進協議会ユニバーサルデザイン部会

- 【11月15日(日)】
- まとめ発表・意見交換、講評 ファシリテーター/山田 桂一郎 副塾長

役場や道の駅にパンフレットがありますので、ご参照ください。

問い合わせ先
てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係内) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)



昨年の観光塾から(上)藻谷さん 下)山田さん